

# BIG RED FARM

## contents

Grade Race Winners in 2024	02
Recent Grade Race Winners	04
ウインブライト WIN BRIGHT	06
ゴールドシップ GOLD SHIP	08
ジョーカプチーノ JO CAPPUCCINO	10
ダノンザキッド DANON THE KID	12
ダノンバラード DANON BALLADE	14
ベンバトル BENBATL	16
ローズズインメイ ROSES IN MAY	18
Stallion Lineup	20
Staff Introduction	22

## Introduction

昨年も多くの馬主・生産者の皆様に弊社繋養種牡馬をご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

国内の1歳セールでは過去10年以上にわたり価格が上昇してきました。

それに伴い種付料が1000万円以上の種牡馬が3頭以上いるのが当たり前になり、本年はついに大台の10頭になりました。しかも、その種牡馬のうちの5頭は産駒が未出走またはGI未勝利です。

海外では成功種牡馬の種付料が20万ドル以上になることも珍しくありませんが、まだ結果の出ていない馬の種付料が8万ドルを超えることは稀です。そういう意味では、日本の種付料は異例の高騰と言えます。

2010年頃まで何度かの経済危機がありました。15年ほど馬の価格が必要以上に低迷した時期がありましたが、馬主の数が増えない明確な理由を言える人はいなかったと記憶しております。現在の国内生産頭数はピークだった1992年の10407頭より23%ほど少ないのですが、底を打った2012年の6828頭からは17%アップの約8000頭とかなりのペースで回復してきています。サラブレッドの生産頭数と価格が同時に上がっているのは生産地にとっては喜ばしいことですが、その根拠が明確でない以上また下がることも想定しておかなければ、30年前と同じことを繰り返すことになりかねません。投資額に対するリスクをしっかりと見極めなければならないと、自戒の念を込めて考えております。

さて、本年ベンバトルの初年度産駒がデビューを迎えます。父トバウイは英愛リーディングサイアーで6度もガリレオの2位に甘んじてきましたが、2022年に初めてフランケルを抑えてリーディングサイアーに輝きました。また、その後継種牡馬たちも次々と頭角を現しております。同馬がその中の1頭に加わることを期待しております。

ダノンザキッドの初産駒が本年誕生いたします。現在サンデーサイレンスを父に持つディープインパクト系やステイゴールド系に負けない勢いで、ハーツクライ系種牡馬が活躍しております。本馬にもご注目下さい。ゴールドシップはクラシックレースに毎年産駒を送り出しているように、特に芝の中距離以上では屈指の名種牡馬になりつつあります。

今後とも種牡馬のシンジケートメンバーの方々と共に弊社も成功させるべく努力いたしますので、馬主・生産者の皆様にはより一層、弊社繋養種牡馬の利用をご検討いただきたくお願い申し上げます。



有限会社ビッグレッドファーム  
岡田 紘和





# Grade Race Winners in 2024

2024年も弊社繋養種牡馬の産駒たちは中央・地方を問わず、各カテゴリーで目覚ましい活躍を見せています。

なかでもゴールドシップは2023年のJRA賞最優秀障害馬に選出されたマイネルグロンが、引き続き素晴らしい飛越、走りを見せて阪神スプリングJ-J・G2を制し、平地ではメイショウタバルが未勝利、つばき賞、毎日杯-G3と3連勝。皐月賞へと駒を進めました。残念ながら日本ダービーこそ出走取消となりましたが、秋緒戦の菊花賞トライアル神戸新聞杯-G2を見事に逃げ切り、重賞2勝目。また牝馬路線ではコガネノソラがスイートピーS-Lをメンバー中最速の上がりでも豪快に差し切り、オークスへ出走。さらに夏には古馬相手にクイーンS-G3を勝利し、重賞タイトルを手にしています。ゴールドシップは自身のキャリアハイとなる年間重賞4勝を挙げ、まさに充実期に入ったと言っていいでしょう。

そのほかにも、惜しくも重賞制覇には一歩及びみませんでした。コスモブッドレアによる京成杯-G3の3着を皮切りに、ウインピクシスが福島牝馬S-G3を3着、メイショウブレゲが京都大賞典-G2を3着、フェアエールングが福島記念-G3を2着に好走しており、今後ますますの活躍に期待がかかります。

またゴールドシップ以外の種牡馬も順調に成績を伸ばしており、ダノンバラード産駒マイネルチケットが出世レースのサウジアラビアRC-G3を3着、京王杯2歳S-G2を2着に好走。世代トップクラスの走りで、3歳春のビッグタイトル獲得に大きく近づいています。ジョーカプチーノ産駒はサンデイビスが京都ハイジャンプ-J・G2を勝利、平地でもシナモンスティックが得意の札幌でしらかばS-OPを2着に好走し、新馬勝ち馬も複数出ました。2024年に初年度産駒を送り出したウインブライトも有力産駒が多数スタンバイしております。

2025年の重賞戦線も弊社繋養種牡馬の産駒の活躍をお見せできますように、一丸となって取り組んで参ります。ぜひご期待下さい。



メイショウタバル by ゴールドシップ  
(神戸新聞杯-G2)



メイショウタバル by ゴールドシップ  
(毎日杯-G3)



マイネルグロン by ゴールドシップ  
(阪神スプリングJ-J・G2)



サンデイビス by ジョーカプチーノ  
(京都ハイジャンプ-J・G2)



コガネノソラ by ゴールドシップ  
(クイーンS-G3)



# Recent Grade Race Winners

ゴールドシップ、ダノンバラード、ジョーカプチャーノの3頭は、それぞれの産駒が多様な分野で活躍し、種牡馬としてのポテンシャルを証明してきました。クラシック戦線から障害、地方交流重賞まで、産駒は個々の強みを最大限に発揮し、多方面で優れた結果を残しています。この3頭の産駒たちは、その父譲りの特徴を活かし、競馬ファンに大きな感動を与えています。



クラシックホースとして輝いたユーバーレーベン(2021オークス-G1)は、オークスで豪快な末脚を披露し、父の粘り強さと決め手を体現しました。また、2023年のJRA賞最優秀障害馬に選ばれたマイネルグロン(中山大障害-J-G1)は、障害レースでの安定感と強さを示しました。さらに、ウインキートス(2021目黒記念-G2)は長距離適性を活かし、古馬重賞戦線でその実力を発揮しました。

## ゴールドシップ



ユーバーレーベン (2021 オークス -G1)



マイネルグロン(中山大障害-J-G1) 2023年 JRA賞最優秀障害馬



ゴールデンハインド (2023 フローラ S-G2)



ウインキートス (2021 目黒記念 -G2)



ブラックホール (2019 札幌 2歳 S-G3)



## ダノンバラード

ロードプレス(2020日本テレビ盃 -Jpn2)は地方競馬のダート戦で粘り強さを見せ、安定した成績を収めました。キタウイング(2022新潟2歳S-G3、2023フェアリーS-G3)は2歳戦とクラシック路線でスピードを発揮し、鋭い末脚でファンを魅了。さらに、ダノンレジーナ(2021東京シンデレラマイル -重賞)は地方交流重賞で輝き、グランダム・ジャパン古馬シーズンを制するなど、その能力を示しました。



ロードプレス (2020 日本テレビ盃 -Jpn2)



キタウイング(2023フェアリーS-G3)



ダノンレジーナ (2021 東京シンデレラマイル - 重賞)



## ジョーカプチャーノ

ジョーストリクトリ(2017ニュージランドT-G2)は父がG1制覇した距離で、ナムラリコリス(2021函館2歳S-G3)は父が2度重賞制覇した距離で鮮烈な走りを見せました。また、障害レースで活躍したサンデイビス(2024京都ハイジャンプ-T-G2)は、その安定感と素早い脚捌きでファンの期待に応えました。



ナムラリコリス (2021 函館 2歳 S-G3)



ジョーストリクトリ (2017 ニュージランド T-G2)



# ウインブライト

Win Bright  
2014年生 日本産 芦毛

QE2Cのレコード勝ち含め香港G1で3戦2勝2着1回の王者  
スピードと成長力を兼ね備えたステイゴールド系の後継種牡馬



本馬がクイーンエリザベス2世カップでマークした1分58秒81の勝ち時計は、いまだ破られぬレコードタイム。同一年の香港カップも危なげない競馬で制し、海外G1・2勝目。そのほか国内でも3歳から5歳まで毎年重賞を勝っており、さらに6歳暮れには再び香港に渡って香港カップを2着に好走。国内外の芝1800~2000mで重賞7勝を積み上げ、スピードと操縦性、勝負根性、そして成長力を存分に示した現役生活を送った。本馬はステイゴールド産駒のなかでも海外競馬での実績は群を抜いており、その能力と成長力はステイゴールドの優良後継種牡馬としての期待を抱かせるに十分な資質と言える。

## 競走成績 Race Record

2016年~2020年  
24戦9勝  
総獲得賞金299,523,000円(国内) HK\$35,800,000

### 2019年 JRA賞最優秀4歳以上牡馬

- 優勝** 香港カップ-G1(芝2000m)  
Hong Kong Cup-G1 (Turf)
- 優勝** 香港クイーンエリザベス二世C-G1(2000m)  
Queen Elizabeth II Cup-G1 (Turf)
- 優勝** 中山記念-G2(芝1800m)2回  
Nakayama Kinen-G2 (Turf) twice
- 優勝** スプリングS-G2(芝1800m)  
Spring S-G2 (Turf)
- 優勝** 中山金杯-G3(芝2000m)  
Nakayama Kimpai-G3 (Turf)
- 優勝** 福島記念-G3(芝2000m)  
Fukushima Kinen-G3 (Turf)
- 優勝** 若竹賞(芝1800m)  
Wakatake Sho (Turf)
- 2着** 香港カップ-G1(芝2000m)
- 2着** 中山金杯-G3(芝2000m)

## 種牡馬成績 Stud Record

2021年より我国で供用開始  
2024年は74頭に種付け  
<主な産駒>  
アランフェスローズ(プルザトリガー・メモリアル)  
バセリーナ(中央・1勝,クローバー賞OP3着)  
シュードタキライト(中央・1勝)  
ローレルオーブ(中央・1勝)  
フクノブルーレイク(中央・1勝)  
ドーバーブライト(中央・1勝)

## 母系 Family

- 母** サマーエタニティは3勝。産駒  
ウインファピラス(13牝 芦 ステイゴールド)2勝,常総S,阪神JF-G12着,新潟2歳S-G32着,ニューイヤーS-L3着,アルテミスS-G35着,ターコイズS-L5着  
**ウインブライト**: 本馬  
ウインエクレー(19牝 鹿 ディープインパクト)2勝,スイートピーS-L
- 祖母** オールフォーグランは1勝。産駒  
マイネシャリマー(牝 \*ムタファーウエフ)1勝,いちようS-L3着,芙蓉S-OP3着。産駒  
| マイネボニータ:2勝,高知(公)1勝  
| マイネディール(牝 アドマイヤマックス)2勝,鞍ヶ池特別。産駒  
| マイネルヒツツエ:1勝
- 曾祖母** ミスグランは1勝。産駒  
ヤマフリアル:2勝,エリザベス女王杯-JPN12着,チューリップ賞-OP2着,桜花賞-JPN14着,ローズS-JPN24着。産駒  
ナリタショウグン:3勝,苫小牧特別  
モガミグラン:不出走。産駒  
| メガミグラン:7勝,アンドロメダS-OP,北九州短距離S-OP,パールS,桶狭間S,赤穂特別,えのき賞,北九州記念-JPN33着,CBC賞-JPN25着。産駒  
| チリエージュ:5勝,別府特別,鳥羽特別,セントウルS-JPN35着。  
| **ハクサンムーン**(セントウルS-G2,京阪杯-G3,アイビスサマーダッシュ-G3,スプリンターズS-G12着,高松宮記念-G12着),**サトノレーヴ**(函館スプリントS-G3,キーンランドC-G3,香港スプリント-G13着),**ウォーリングステイツ** Warring States(バファリアンクラシック-G3)の母  
| シャルルグラン:5勝,伊勢特別  
| クリノダイコクテン:1勝,高知◎1勝,障2勝,牛若丸JS,阪神スプリングJ-G25着  
| アンビシャス:4勝,知多特別,春日特別  
| ヒダカグラン:入着。産駒  
| ピエナオンリーワン:3勝,長良川特別
- 四代母** グランは2勝,篠山特別。産駒  
**シルクスキー**:最優秀2歳牝馬,6勝,京都大賞典,4歳牝馬特別(東),阪神牝馬特別  
| スイートロマン:10勝,京都牝馬特別2着。**スノークラッシャー**(メトロポリタンS-L)の祖母  
| スイートグラン:4勝,山陽特別。**ラッキーグラン**(阪神3歳S-JPN1)の祖母

## 血統表 Pedigree Table

ステイゴールド Stay Gold 黒鹿毛 1994	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo	Hail to Reason Cosmah	Turn-to Nothirdchance Cosmic Bomb Almahmoud Promised Land Pretty Ways Montparnasse Edelweiss Fine Top Sanelta Worden Dulzetta Northern Dancer Lady Victoria Princely Gift Sash of Honour *フオルティノ Chambord Prince John Wildwood)
	ゴールデンサッシュ Golden Sash	*ディクタス	Understanding Mountain Flower Sanctus Doronic	Lady Victoria Princely Gift Sash of Honour *フオルティノ Chambord Prince John Wildwood)
サマーエタニティ Summer Eternity 芦毛 2005	アドマイヤコジーン Admire Cozzene	Cozzene	*ローザンテースト *ロイヤルサッシュ Caro	Northern Dancer Lady Victoria *トライバルチーフ Hanina Raise a Native Gold Digger Nijinsky Special Nijinsky *シル *ソノナウエー *ミスブゼン
	オールフォーグラン All for Guelain	アドマイヤマカティ	Ride the Trails *ローザンテースト *ミセスマカティ	
		*ジェイドロバリー	Mr. Prospector Number マルゼンスキー ゲラン	
		ミスグラン		

## 父系 Sire Line

父:ステイゴールドは日本産。香港ヴァーズ-G1,ドバイシーマクラシック-G2,目黒記念-JPN2,日経新春杯-JPN2,天皇賞・秋-JPN12着・2回,天皇賞・春-JPN12着など50戦7勝。

<代表産駒>

オルフェーヴル(年度代表馬,ダービー-G1,有馬記念-G1・2回,皐月賞-G1,菊花賞-G1,宝塚記念-G1,凱旋門賞-G12着・2回),ゴールドシップ(最優秀3歳牡馬,有馬記念-G1,皐月賞-G1,菊花賞-G1,天皇賞・春-G1,宝塚記念-G1・2回),ドリームジャーニー(最優秀2歳牡馬,最優秀古牡馬,有馬記念-G1,宝塚記念-G1),インディチャンプ(最優秀短距離馬,安田記念-G1,マイルチャンピオンシップ-G1),フェノーメノ(天皇賞・春-G1・2回),ナカヤマフェスタ(最優秀古牡馬,宝塚記念-G1,凱旋門賞-G12着),レインボーライン(天皇賞・春-G1),レッドリヴェール(最優秀2歳牝馬,阪神ジュベナイルフィリーズ-G1)など多数。



# ゴールドシップ

Gold Ship  
2009年生 日本産 芦毛

ユーバーレーベン、マイネルグロンに続く有望な産駒を続々輩出  
クラシックレースの常連。芝中長距離で絶対的な実績を誇る



代表産駒 ユーバーレーベン (2021年 オークス優勝)

ゴールドシップの2年目の産駒として生まれたユーバーレーベンは東京芝1800mの新馬を快勝すると、暮れには2歳女王決定戦・阪神JFに出走。上がり最速となる33.6秒の末脚をマークして3着に好走。その鋭い決め手は世代No.1牝馬を決めるオークスでも遺憾なく発揮され、後方から徐々にポジションを上げる競馬で、ゴールドシップ産駒らしい息の長い末脚を披露。上がり34.4秒の末脚でNo.1牝馬の座を手にした。その後もバイシマクラシック5着など、国内外の重賞戦線で活躍を続け、5歳、AJCCの3着まで、新馬戦以外はすべて重賞という高レベルのレースを走り続けた。

© Keibabook

## 競走成績 Race Record

2011~2015年  
28戦13勝 総獲得賞金1,397,767,000円

### 2012年 JRA賞最優秀3歳牡馬

- 優勝** 有馬記念-G1 (芝2500m)  
Arima Kinen (The Grand Prix)-G1 (Turf)
- 優勝** 皐月賞-G1 (芝2000m)  
Satsuki Sho (Japanese 2000 Guineas)-G1 (Turf)
- 優勝** 菊花賞-G1 (芝3000m)  
Kikuka Sho (Japanese St.Leger)-G1 (Turf)
- 優勝** 天皇賞・春-G1 (芝3200m)  
Tenno Sho (Spring)-G1 (Turf)
- 優勝** 宝塚記念-G1 (芝2200m) 2回  
Takarazuka Kinen-G1 (Turf) twice
- 優勝** 阪神大賞典-G2 (芝3000m) 3回  
Hanshin Daishoten-G2 (Turf) 3 times
- 優勝** 神戸新聞杯-G2 (芝2400m)  
Kobe Shimbun Hai-G2 (Turf)
- 優勝** 共同通信杯-G3 (芝1800m)  
Kyodo News Service Hai-G3 (Turf)
- 2着** 札幌記念-G2 (芝2000m)
- 2着** ラジオNIKKEI杯2歳S-G3 (芝2000m)
- 2着** 札幌2歳S-G3 (芝1800m)

## 種牡馬成績 Stud Record

2016年より我国で供用開始  
 <主な産駒>  
 ユーバーレーベン(オークス-G1, 札幌2歳S-G32着, 阪神JF-G13着, AJCC-G23着)  
 マイネルグロン(2023年最優秀障害馬, 中山大障害-J-G1, 東京ハイジャンプ-J-G2, 阪神スプリングJ-G2, 清秋ジャンプS-OP2着, 障害OP2勝)  
 ウィンキートス(目黒記念-G221年1着・22年3着, 湾岸S, 土湯温泉特別, ルスツ特別, オールカマー-G221年2着・22年3着)  
 メイショウタバル(神戸新聞杯-G2, 毎日杯-G3, つばき賞)  
 ゴールデンハインド(フローラS-G2, 芙蓉S-OP2着)  
 ウィンマイティ(マーメイドS-G322年1着・23年2着, 忘れな草賞-L, デイジー賞, オークス-G13着, 京都大賞典-G23着)  
 ブラックホール(札幌2歳S-G3, 弥生賞ディープインパクト記念-G24着, 菊花賞-G15着)  
 コガネノゾラ(クイーンS-G3, スイートピーS-L)  
 メイショウブレグ(万葉S-OP, 海の中道特別, 京都大賞典-G23着)  
 アドミラルシップ(ホープフルS-G14着)  
 コスモッドレア(習志野特別, 富良野特別, 京成杯-G33着)  
 プリュムドール(古都S, ステイヤーズS-G22着)  
 マカオドール(万葉S-OP, 江坂特別, 大寒桜賞, 京都新聞杯-G23着, 京都2歳S-G33着)  
 ウィンピクシス(壇ノ浦S, 五色沼特別, クイーンS-G32着, 福島牝馬S-G33着, 福島記念-G34着)  
 フェアエールン(STV賞, 釧路湿原特別, 利尻特別, 福島記念-G32着)  
 ゴールデンスナップ(万葉S-OP, 琵琶湖特別, 積丹特別, ステイヤーズS-G24着, 阪神大賞典-G25着)  
 マイネルモント(江の島S, 茨城新聞杯, 中山金杯-G32着)

## 母系 Family

**母** ポイントフラッグは1勝, チューリップ賞-JPN32着, 紅梅S-OP2着, エルフィンS-OP2着, フローラS-JPN25着。産駒  
 ミラクルフラッグ(07牝 栗 スパイキュール)1勝。産駒  
 ダイメイコリーダ:2勝, 鳳雛S-L2着, 南関東入着, ジャパンダートダービー-JPN12着, 道場4勝  
 シスターフラッグ:2勝, 札幌2歳S-G34着, 京都2歳S-G35着  
**ゴールドシップ**:本馬  
 トレジャーマップ(11牝 鹿 ステイゴールド)4勝, 本栖湖特別, 瓢湖特別  
 ゴールドフラッグ(15牝 黒鹿 ステイゴールド)3勝, フルーツラインC, 臥牛山特別  
**祖母** パストラリズムは2勝。  
**曾祖母** トクノエイティは2勝, 寒菊賞。産駒  
 スーパータマモ:4勝, 蓬莱峡特別, サファイヤS-JPN33着, ローズS-JPN25着  
 アイネスガンマ:4勝, 金北山特別(2回), 栗島特別, 京成杯-JPN34着  
 ダイヤモンドレイ:1勝。産駒  
 キオイスアート:5勝, 大雪H, 勝浦特別, 中山ヤングジョッキーズS, 道新杯-OP2着, 函館記念-JPN34着, 障1勝  
 マイダイアモンド:4勝, 鈴鹿特別  
**四代母** アイアンルビーは不出走。産駒  
 ダンツルビー:1勝。  
**五代母** 風鈴は不出走。産駒  
**スイートフラッグ**:7勝, 京王杯オータムH, オールカマー, 牝馬東京タイムズ杯, 金杯(東), むらさき賞, 晩春S, 桜花賞2着, カブトヤマ記念2着, オークス3着。産駒  
 チャーテルシンボリ:障2勝, 中山大障害3着  
 シャードシンボリ:3勝, 府中3歳S, 黄菊賞  
 スイートカシオペヤ:3勝。マイティスプリング(ギャラクシーS-L)の祖母  
 トウザン:3勝, 寒菊賞, 函館3歳S3着。種牡馬  
 カズマサオー:4勝, 陣馬特別。種牡馬  
 サリュウホマレ:4勝, 鹿島特別, 五稜郭特別, 桜草特別, セントライト記念4着  
 ヤサカニシキ:3勝。産駒  
 サイビファバー:2勝, 若葉賞。カネトシガバナー(神戸新聞杯-JPN2)の祖母

## 血統表 Pedigree Table

ステイゴールド Stay Gold 黒鹿毛 1994	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo	Hail to Reason Cosmah	Turn-to Nothridchance Cosmic Bomb Almahmoud Promised Land Pretty Ways Montparnasse Edelweiss Fine Top Sanelita Worden Dulzetta
	ゴールデンサッシュ Golden Sash	*ティクタス	Understanding Mountain Flower Sanctus	Northern Dancer Lady Victoria Princely Gift Sash of Honour アーロン *スモーク *スニップ Chanel Alcide Admonish *セントスタン アサマリ
ポイントフラッグ Point Flag 芦毛 1998	メジロマックイーン Mejiro McQueen	メジロティターン	Doronic *ノーザンテースト *ロイヤルサッシュ メジロアサマ	Northern Dancer Fleur Roberto Cambrienne Princely Gift Mwanza *ラックスパー 風鈴
	メジロオーロラ	*シェリル *リマンド	*メジロアイリス The Minstrel Cambretta	
	パストラリズム Pastoralism	*ブルラリズム	*トライバルチーフ アイアンルビー	
	トクノエイティ			

## 父系 Sire Line

父:ステイゴールドは日本産。香港ヴァーズ-G1, ドバイシーマクラシック-G2, 目黒記念-JPN2, 日経新春杯-JPN2, 天皇賞・秋-JPN12着・2回, 天皇賞・春-JPN12着など50戦7勝。

<代表産駒>

オルフェーヴル(年度代表馬, ダービー-G1, 有馬記念-G1・2回, 皐月賞-G1, 菊花賞-G1, 宝塚記念-G1, 凱旋門賞-G12着・2回), ドリームジャーニー(最優秀2歳牡馬, 最優秀古牡馬, 有馬記念-G1, 宝塚記念-G1), ウィンブライト(最優秀古牡馬, 香港カップ-G1, 香港クイーンエリザベス二世C-G1), インディチャンプ(最優秀短距離馬, 安田記念-G1, マイルチャンピオンシップ-G1), フェノーメノ(天皇賞・春-G1・2回), ナカヤマフェスタ(最優秀古牡馬, 宝塚記念-G1, 凱旋門賞-G12着), レインボーライン(天皇賞・春-G1), レッドリヴェール(最優秀2歳牝馬, 阪神ジュベナイルフィリーズ-G1), アドマイヤード(ヴィクトリアマイル-G1), オジュウチョウサン(最優秀障害馬・5回, 中山大障害-JG1・3回), マイネルメダリスト(目黒記念-G2)など多数。



# ジョーカプチーノ

Jo Cappuccino  
2006年生 日本産 芦毛

スピードの絶対値が高く、短距離実績が豊富な種牡馬  
2024年にサンデイビスが京都ハイジャンプ-J・G2を制覇



## 競走成績 Race Record

2008～2012年  
23戦6勝 総獲得賞金302,201,000円

- 優勝** NHKマイルC-G1 (芝1600m)  
NHK Mile Cup-G1 (Turf)
- 優勝** シルクロードS-G3 (芝1200m)  
Silk Road S-G3 (Turf)
- 優勝** ファルコンS-G3 (芝1200m)  
Falcon S-G3 (Turf)
- 2着** スワンS-G2 (芝1400m)
- 3着** 京王杯スプリングC-G2 (芝1400m)
- 3着** スワンS-G2 (芝1400m)
- 3着** ニューゼalandT-G2 (芝1600m)

代表産駒 サンデイビス (2024年 京都ハイジャンプ優勝)

サンデイビスは平地の特別戦で1勝を挙げ、2023年、5歳時に障害へ転向。2戦目の未勝利戦で障害レースの初勝利を挙げると、障害OPで経験を積み、2024年2月にOPを勝利。その勢いを駆って、続くペガサスジャンプ-OPも3着に好走し、迎えたのは京都ハイジャンプ-J・G2。レース序盤は落ち着いて後方を進み、中盤から徐々に前に進出。逃げるザメイダンを射程圏に捉えると、直線入り口手前で先頭に。直線は後続との差を広げる一方で、結果、2着馬に5馬身差をつける圧勝で重賞初勝利を飾った。

## 種牡馬成績 Stud Record

2013年より我国で供用開始  
 <主な産駒>  
 サンデイビス (京都ハイジャンプ-J・G2, 障害OP, 二本松特別, ペガサスジャンプS-OP3着)  
 ジョーストリクトリ (ニューゼalandT-G2, 東風S-L, なずな賞, アーリントンC-G35着)  
 ナムラリコリス (函館2歳S-G3)  
 キタノリュウオー (師走S-L, 内房S, ボルックスS-OP2着, 太秦S-OP3着)  
 シナモンスティック (UHB賞-OP, ストークS, 郡山特別, キーンランドC-G32着, しらかばS-OP2着)  
 ジョーマンデリン (UHB杯, 道新スポーツ杯, 函館スプリントS-G33着, ルミエールAD-L5着)  
 ジョーアラビカ (道頓堀S, 木更津特別, 唐戸特別, 京阪杯-G33着, タンザナイトS-OP2着)  
 マイネルパールマン (クリスマスローズS-OP, 端午S-OP, 福島2歳S-OP2着, ダリア賞-OP2着)  
 コスモイグローク (すずらん賞-OP)  
 ビーメイベイビー (福島2歳S-OP3着)  
 エティエンヌ (初風S, カペラS-G35着)  
 ネクストストーリー (潮騒特別, フェアリーS-G35着)  
 サクセスエース (障害OP, 東京ジャンプS-J-G35着)  
 ホウオウバリスダ (中央3勝)  
 ヤサシサ (中央3勝)  
 サイダイゲンカイ (北海道・栄冠賞)  
 ジョーロノ (南関東・平和賞2着, 南関東・ニューイヤーク2着)  
 オリアメンディ (飛竜特別)  
 セッカチケン (中央2勝)  
 キタノズエッジ (中央2勝)  
 メタルスパーク (中央2勝)  
 エターナルダイヤ (中央2勝)  
 レモンバーム (中央1勝)  
 アスタールフナ (中央1勝)  
 ハートホイップ (中央1勝, 岩手2勝)  
 ジョーブリランテ (中央1勝)

## 母系 Family

- 母** ジョーブシケは1勝。産駒  
**ジョーカプチーノ**: 本馬  
 ジョープライド (07 牡 栗 \*アルカセット) 2勝  
 ジョーアポロン (08 牡 芦 ネオユニヴァース) 1勝  
 ジョーハヤテ (09 牡 鹿 ジャンブルポケット) 東海 (公) 4勝  
 ジョーカトゥーラ (14 牡 黒鹿 マンハッタンカフェ) 東海◎1勝, 南関東 (公) 4勝
- 祖母** ジョーユーチャリスは1勝。産駒  
 ジョーリュウオー (牡 \*ブルーミングダンサー) 3勝, 金山特別  
 ジョーヴィヴィット (牝 ダンスインザダーク) 入着。産駒  
 ジョープリス: 1勝  
 ジョーヴァリアント: 1勝
- 曾祖母** ジョーパブーンは7勝, 仁川S, 平安S, 比叡S, 信貴山特別, 千里山特別, 春日特別, 京阪杯2着, 阪神牝馬特別3着。産駒  
 ジョーポーラスター: 1勝
- 四代母** ハードゲイは1戦。産駒  
 ナスティターン: 北関東 (公) 7勝, しもつけ菊花賞, とちぎダービー3着, 足利記念3着, しもつけさつき賞3着, 織姫賞3着, 尊氏賞3着, ばん阿賞3着  
 ジョーオースチン: 5勝, 有田特別
- 五代母** \*スピンドル Spindle は愛国産, 英6戦。産駒  
 ブロンドケリー: 1勝。産駒  
 ジョーパバーヌ: 3勝, 噴火湾特別
- 六代母** ノコムス Nokomis は英1戦。産駒  
**インディアンコンクエスト** Indian Conquest: 英愛4勝, アングルシーS, レイルウェイS2着, ジャージーS2着, フィーニクスS4着。種牡馬  
**プリンスタメラリーヌ** Prince Tamerline: 北米2勝, 愛入着, テトラークS4着  
 ムーンドーター Moon Daughter: 英1勝。産駒  
 | **カズプ** Cusp: 愛入着, Testimonial S-L2着  
 フリーティングインタレスト Fleeting Interest: 英5戦。産駒  
**レイディラウンデス** Lady Lowndes: 英3勝, Zetland Gold Cup-L, Bessborough H-L2着  
**コッパーズエヴィデンス** Copper's Evidence: 英5勝, Great Yorkshire H

## 血統表 Pedigree Table

マンハッタンカフェ Manhattan Cafe 青鹿毛 1998	*サンデーサイレンス Sunday Silence	Halo	Hail to Reason Cosmah	Turn-to Nothridchance Cosmic Bomb Almahmoud Promised Land Pretty Ways Montparnasse Edelweiss Hoist the Flag Princess Pout Baldnesian Ran-Tan Henry the Seventh Light Arctic Ticino Schwarzblautrot Northern Dancer
	*サトルチェンジ Subtle Change	Wishing Well	Understanding Mountain Flower Alleged Bold Bikini	Flaming Page Round Table Regal Gleam Northern Dancer Fairy Bridge
ジョーブシケ Jo Psykhe 芦毛 2000	フサイチコンコルド Fusaichi Concorde	Law Society	Luciano Nijinsky Foreseer Sadler's Wells Sun Princess	*インクワッシュアップリス Sunny Valley Princely Gift Suncourt Your Host Wisteria Grey Sovereign Ranavalo *グイタム *スピンドル
	ジョーユーチャリス Jo Eucharis	Santa Luciana	Luciano Nijinsky Foreseer Sadler's Wells Sun Princess	
		*バレークイーン	Caerleon	Nijinsky Foreseer Sadler's Wells Sun Princess
		トウショウボーイ	*テスコボーイ *ソーシャルバスターフライ *フォルティノ ハードゲイ	
		ジョーパブーン		

## 父系 Sire Line

父: マンハッタンカフェは日本産。最優秀4歳以上牡馬, 有馬記念-JPN1, 菊花賞-JPN1, 天皇賞・春-JPN1など12戦6勝。総合チャンピオンサイアー。

<代表産駒>

ヒルノダムール (天皇賞・春-G1, 皐月賞-G12着), レッドディザイア (秋華賞-G1, マクトゥームチャレンジラウンド3-G2, オークス-JPN12着, 桜花賞-JPN12着), クイーンズリング (エリザベス女王杯-G1, 有馬記念-G12着, 秋華賞-G12着), グレープブランデー (フェブラリーS-G1, ジャパンダートダービー-JPN1), ショウナンマイティ (大阪杯-G2, 安田記念-G12着), ルージュバック (毎日王冠-G2, オークス-G12着), プラチナムバレット (京都新聞杯-G2), シャクトラ (阪神大賞典-G2), エーシンモアオーバー (名古屋グランプリ-JPN2・2回), メイショウテツコン (日経賞-G2), シングウィズジョイ (フローラS-G2, エリザベス女王杯-G12着) など多数。



# ダノンザキッド

Danon the Kid  
2018年生 日本産 鹿毛

デビューから3連勝でホープフルSを制し、JRA賞最優秀2歳牡馬に輝く  
国内外のG1レースで活躍を続けたハーツクライ系種牡馬



新馬、東スポ杯2歳S-G3と連勝して臨んだホープフルS-G1。10番枠から好スタートを決めると前にタイトルホルダー(菊花賞、天皇賞・春、宝塚記念)、内にオソクレース(菊花賞2着)を見る好位の外を追走。向正面では外から被される場面もあったが、折り合いを欠くことなくスムーズにレースを進め、3コーナー過ぎから前を捉えにかかると。直線入口でタイトルホルダーを外から競り落とすと、そのまま馬場の真ん中を真一文字に伸びて、内のオソクレースをかわしてゴール。見事に1番人気に立ててみせた。勝ち時計は2分2秒8。終始外を回りながらも、2着オソクレースに1馬身4分の1差をつける完勝だった。

## 競走成績 Race Record

2020年～2023年  
19戦3勝  
総獲得賞金336,615,000円(国内) HK \$8,305,000

### 2020年 JRA賞最優秀2歳牡馬

- 優勝** ホープフルS-G1(芝2000m)  
Hopeful S-G1 (Turf)
- 優勝** 東京スポーツ杯2歳S-G3(芝1800m)  
Tokyo Sports Press Hai Nisai S-G3 (Turf)
- 2着** 香港カップ-G1(芝2000m)
- 2着** マイルチャンピオンシップ-G1(芝1600m)
- 3着** 大阪杯-G1(芝2000m)
- 3着** マイルチャンピオンシップ-G1(芝1600m)
- 3着** 毎日王冠-G2
- 3着** 弥生賞ディープインパクト記念-G2(芝2000m)
- 3着** 関屋記念-G3

## 種牡馬成績 Stud Record

2024年より我国で供用開始  
2024年は74頭に種付け

## 母系 Family

- 母** \***エピックラブ**は仏2勝。ヴァントー賞-G3, サンタリ賞-G12着。産駒  
ミッキープリランテ(16 牡 鹿 ディーププリランテ)5勝, ニュイヤーS-L, 阪急杯-G32着, 京成杯オータムH-G32着, シンザン記念-G33着, 函館スプリントS-G33着  
オールザワールド(17 牡 鹿 キズナ)3勝, 障害3勝, 東京ハイジャンプ-J-G23着  
**ダノンザキッド**: 本馬  
クリスピノ(19 牡 鹿 ドゥラメンテ)大井(公)2勝  
**ダノンタッチダウン**(20 牡 鹿 ロードカナロア)1勝, 朝日杯FS-G12着, デイリー杯2歳  
S-G22着, NHKマイルC-G14着  
マリーマカロン(21 牝 栗 レイデオロ)中央  
ラヴァブル(22 牝 栗 ジャスタウェイ)中央1勝
- 祖母** \***レオパードハント** Leopard Huntは米国産, 北米1勝, 英1勝, STAR S-L3着。産駒  
スウィフトアンドシュア Swift And Sure(牝 Exceed And Excel)英1勝  
サウンドデューク(驕 Duke of Marmalade)3勝
- 曾祖母** **アルカンド** Alcandoは愛国産, 米3勝, 英4勝, 仏1勝, ビヴァリーヒルズH-G1, 同3着, プ  
シユケ賞-G3, ARLINGTON BREEDERS' CUP H-L, FIRTH OF CLYDE S-L, モデステイ  
S-G32着, スコティッシュクラシック-G32着, プリガディアジェラルドS-G33着。産駒  
**カピストラーノデイ** Capistrano Day(Diesis)英1勝, P.DE SAINT-CYR-L, フレッドダーリ  
ングS-G33着, SCEPTRE S-L3着  
**サビー** Sabbeeh: 英3勝, シュアリームS-G32着  
**ドリームデイ** Dream Day: 英1勝, フレッドダーリングS-G32着  
**ボンジョルノ** Bongiorno: 愛1勝, VINTAGE TIPPLE S-L3着, BLUEBELL S-L3着  
**カシール** Kathir: 英・北米・UAE8勝, オーシャンポートH-G32着, CONIFER-GENERAL-  
BUFFETT TURF S-L2着  
**ブリングブレンティ** Bring Plenty: 英1勝, SWEET SOLERA S-L2着, STAR S-L3着  
ローンチーフ Lone Chief: 英1勝  
マンダアイランド Manda Island: 英1勝
- 四代母** カニス Kanizは英国産, 英1勝  
ヒールグロウ He'll Grow: ノルウェー10勝  
カジエフカ Kadievka: 伊11勝

## 血統表 Pedigree Table

ジャスタウェイ Just a Way 黒鹿毛 2009	ハーツクライ Heart's Cry	*サンデーサイレンス	Halo	Hail to Reason Cosmah Understanding Mountain Flower
	シビル Sibyl	アイリッシュダンス	*トニービン *ビューパーダンス	カンバラ Severn Bridge Lyphard My Bupers Nearctic Shenanigans Khaleed Dama Hard Work With Exception Sir Wiggle Blue Double Northern Dancer Pas de Nom His Majesty Spring Adieu イルドアルボン Kadissya High Line Spokera
*エピックラブ Epic Love 鹿毛 2008	Dansili	*シャロン	Icecapade Bushel-n-Peck Mo Exception Double Wiggle Danzig	*エタン Rocchetta Reliance Soft Angels Lyphard Lady Rebecca Darius Desca
	Leopard Hunt	*ティンヒル	Razyana Kahyasi Kerali	
		Hasili	Sharpen Up Doubly Sure Alzao Kaniz	
		Diesis		
		Alcando		

## 父系 Sire Line

父:ジャスタウェイは日本産。ドバイデューティフリー-G1, 天皇賞・秋-G1, 安田記念-G1, 中山記念-G2, アーリントンカップ-G3, ジャパンカップ-G22着, 毎日王冠-G22着・2回など22戦6勝。

<代表産駒>

テオレーマ(JBCレディスクラシック-JPN1, TCK女王盃競走-JPN3, マリーンC-JPN3, レディスプレリユード-JPN22着), アドマイヤジャスタ(函館記念-G3, ホープフルS-G12着, すみれS-L2着), ロードマイウェイ(チャレンジカップ-G3, ポートアイランドS-L, キャピタルS-L2着), アウイリアウェイ(シルクロードS-G3, オパールS-L, スプリンターズS-G13着), マスターフェンサー(名古屋グランプリ-JPN2, マーキュリーカップ-JPN3・2回, 白山大賞典-JPN3, ケンタッキーダービー-G16着, ベルモントS-G15着), ヴェロックス(若駒S-L, 若葉S-L, 皐月賞-G12着, ダービー-G13着, 菊花賞-G13着, 神戸新聞杯-G22着), ルージュエヴァイク(エリザベス女王杯-G12着, 府中牝馬S-G22着, エプソムカップ-G32着)など多数。



# ダノンバラード

Danon Ballade  
2008年生 日本産 黒鹿毛

世界的名牝系バラード一族の血を引くディープインパクト系種牡馬  
仕上がり早く2歳から重賞戦線で活躍。逆輸入後は毎世代G1へ出走



代表産駒 キタウイング(2022年 新潟2歳S優勝、2023年フェアリーS優勝)  
キタウイングは父ダノンバラードが日本に買い戻された最初の年に種付けされた馬。デビューから2戦目の新潟芝1600mで初勝利を挙げると、連闘で望んだ新潟2歳Sも勝利。後方からレースを進め、上がり3ハロンは33.0秒という2歳馬として破格、メンバー中最速の上がり前で前にいる馬を外から一気に捉え切った。  
さらに3歳初戦のフェアリーSでは、後方追走から立ち回りよくポジションを上げていくと、今度は内ラチ沿いを縫うように伸びて差し切り勝ち。末脚の爆発力とともに、馬込みを恐れない強靱な精神力も見せ、これぞディープインパクト系という走りを披露した。

## 競走成績 Race Record

2010~2014年  
26戦5勝 総獲得賞金329,076,000円

- 優勝** アメリカ JCC-G2(芝2200m)  
American Jockey Club Cup-G2(Turf)
- 優勝** ラジオ NIKKEI 杯2歳S-G3(芝2000m)  
Radio Nikkei Hai Nisai S-G3(Turf)
- 優勝** アンドロメダS-L(芝2000m)  
Andromeda S-L(Turf)
- 優勝** 関ヶ原S(芝2000m)  
Sekigahara S(Turf)
- 2着** 宝塚記念-G1(芝2200m)
- 2着** 日経新春杯-G2(芝2400m)
- 3着** 皐月賞-G1(芝2000m)
- 3着** オールカマー-G2(芝2200m)
- 3着** 中日新聞杯-G3(芝2000m)・2回
- 3着** 鳴尾記念-G3(芝2000m)

## 血統表 Pedigree Table

ディープインパクト Deep Impact 鹿毛 2002	*サンデーサイレンス Sunday Silence	<b>Halo</b>	Hail to Reason Cosmah	Turn-to Nothridchance Cosmic Bomb Almahmoud Promised Land Pretty Ways Montparnasse Edelweiss Northern Dancer
	*ウインドインハーヘア Wind in Her Hair	Wishing Well	Understanding Mountain Flower Lyphard Lady Rebecca	Goofed Sir Ivor Pocahontas Crepello Sans le Sou Queen's Hussar
* レディバラード Lady Ballade 黒鹿毛 1997	アンブライドルド Unbridled	Burghclere	Busted Highclere Mr. Prospector Killaloe Le Fabuleux Charedi	Highlight Raise a Native Gold Digger Dr. Fager Grand Splendor Wild Risk Anguar In Reality Magic
	アンジェリックソング Angelic Song	Fappiano Gana Facil	Hail to Reason Cosmah Herbager Miss Swapsco	Turn-to Nothridchance Cosmic Bomb Almahmoud Vandale Filagette Cahoos Soaring

## 父系 Sire Line

父:ディープインパクトは日本産。年度代表馬・2回、最優秀3歳牡馬、最優秀古牡馬、ジャパンC-G1、ダービー-JPN1など14戦12勝。2012年から9年連続総合チャンピオンサイアー。

<代表産駒>

ジェントイルドンナ(年度代表馬・2回、ジャパンC-G1・2回)、コントレイル(ジャパンC-G1、三冠)、キズナ(ダービー-G1)、シャフリヤール(ダービー-G1)、ドバイシーマクラシック-G1、ロジャーバローズ(ダービー-G1)、ワグネリアン(ダービー-G1)、マカヒキ(ダービー-G1)、ディープブリランテ(ダービー-G1)、アルアイン(皐月賞-G1)、ディーマジェスティ(皐月賞-G1)、サトノダイヤモンド(有馬記念-G1)、フィエールマン(天皇賞・春-G1・2回)、ワールドプレミア(天皇賞・春-G1)、ショウナンパンドラ(ジャパンC-G1)、ラヴズオンリーユー(BCフィリ-ン&メアターフ-G1)、サクソンウォリアー Saxon Warrior(英2000ギニー-G1)、スノーフォール Snowfall(英オークス-G1)、オーギュストロダン Auguste Rodin(英・愛ダービー-G1、愛チャンピオンS-G1、BCターフ-G1)など多数。

## 種牡馬成績 Stud Record

2015年より我国で供用開始  
2017年はイタリア、2018年はイギリスで供用  
2019年より我国で再供用

<主な産駒>

ロードプレス(日本テレビ盃-JPN2、BSN賞-L、桃山S、浦和記念-JPN22着、みやこS-G32着、エルムS-G33着、アンタレスS-G33着、名古屋大賞典-JPN33着、東京大賞典-G15着)

キタウイング(新潟2歳S-G3、フェアリーS-G3、信越S-L3着)

マイネルチケット(京王杯2歳S-G22着、サウジアラビアRC-G33着)

ウィンターフェル(北海道2歳優駿-JPN32着、南関東・羽田盃2着、南関東・戸塚記念2着、南関東・京浜盃2着、北海道・サンライズC2着、北海道・栄冠賞2着、南関東・東京ダービー3着、ジャパンダートダービー-JPN14着、全日本2歳優駿-JPN15着)

ナイママ(コスモス賞-OP、五稜郭S、札幌2歳S-G32着、札幌日経オープン-L3着、巴賞-OP3着、京都新聞杯-G24着)

コスモディナー(クローバー賞-OP、コスモス賞-OP2着)

ミジシッピテソーロ(ダリア賞-OP、多摩川S、豊栄特別、阪神ジュベナイルフィリーズ-G15着、紫苑S-G25着)

グラニット(白井特別、サウジアラビアRC-G32着)

ダノンレジーナ(南関東・東京シンデレラマイル・2回、南関東・しらさぎ賞、佐賀・佐賀ヴィーナスC、東海・秋桜賞、兵庫・兵庫サマークイーン賞、JBCレディスクラシック-JPN14着、エンプレス杯-JPN24着)

モンブランテソーロ(五稜郭S、tvk賞)

ライジングラパス(西部日刊スポーツ杯)

アセリント(浄土平特別)

ピンクジン(日田特別、福島牝馬S-G34着)

フェルヴェンテ(なでしこ賞、端午S-OP3着、鳳雛S-L4着)

## 母系 Family

母 \*レディバラード Lady Ballade は愛国産、5勝、阿蘇S-OP、福島テレビ杯、アカシヤS、クイーンC-JPN3 5着、マーチS-JPN35着、南関東◎2勝、クイーン賞-JPN3、TCK女王杯-JPN3、スパーキングレディーC-JPN32着。産駒

レディアアーティスト(04牝鹿 \*フレンチデピュティ)1勝。産駒

ロードフルセイダー:2勝、伏電S-OP2着

デルフィーン:3勝

ロードデルレイ:5勝、白富士S-L、ウェルカムS、赤倉特別、中日新聞杯-G32着

ロードソリスト:1勝

カルディア:北海道(公)1勝。産駒

リトス:2勝、すずらん賞-OP3着、橘S-L3着

ニーナブランド:2勝

ロードアリエス(05牝鹿 \*シンボリクリスエス)2勝、蓬萊峡特別、京都新聞杯-JPN22着、神戸新聞杯-JPN25着、障1勝

スターウォーズ(07牝鹿 黒鹿 キングカメハメハ)入着、南関東(公)3勝。種牡馬

ダノンバラード:本馬

ロードハリケーン(09牝鹿 ディープインパクト)2勝

エンジェリックレイ(10牝鹿 ダイワメジャー)1戦、入着。産駒

ロードリアアブル:1勝、サウジアラビアロイヤルC-G35着

ロードスパイラル:1勝、もみじS-OP2着

ロードシュタルク:2勝

ソルファ(15牝鹿 ロードカナロア)南関東(公)3勝

クラヴィコード:3勝、インディアトロフィー、マリーンカップ-JPN32着

ベイコート(16牝鹿 ロードカナロア)2勝

セレッソ(19牝鹿 黒鹿 ドレフォン)3勝

祖母 アンジェリックソング Angelic Song は不出走。産駒

スライゴベイ Sligo Bay(牡 Sadler's Wells)愛・北米4勝、ハリウッドターフカップ-G1、シネマH-G3、ハリウッドダービー-G12着、ベレスフォードS-G32着、仏入着、クリテリウムドサンクルー-G13着。種牡馬

ウルフトーン Wolfe Tone(牡 Sadler's Wells)英愛2勝、Paddy Power S-L、ムーアズブリッジS-G33着、ゴールドC-G14着。種牡馬

\*ミレニアムウイング(牡 Sadler's Wells)5勝、みなみ北海道S-L、青嵐賞、支笏湖特別



# ベンバトル

Benbatl  
2014年生 英国産 鹿毛

世界各国でG1を3勝したドバウイ系の優良後継種牡馬  
芝・ダートのトップホースを相手に重賞を10勝



父ドバウイはナイトオブサンダー、ポストボンドなど数々の名馬を輩出。孫世代からもG1ウイナーが誕生しており、今や欧州トップサイアーの地位を確立した大種牡馬。その豪華な産駒たちのなかにおいて、ベンバトルはG1レース3勝を含め、芝・ダートで重賞10勝を挙げた後継種牡馬の筆頭格。ドバイターフではヴィプロス、リアルスティールらを3馬身半以上置き去りにし、日本のトップホースたちをスピードで圧倒している。  
現役時代は1600~2000m戦を中心に走っており、日本と同様のスピード馬場での実績、ダート実績も申し分なし。種牡馬としてのポテンシャルを大いに感じさせる。

## 競走成績 Race Record

2017~2021年  
25戦11勝  
総獲得賞金 GBP362,146 EUR100,000 AUS\$1,352,750  
\$6,305,000

- 優勝** ドバイターフ-G1 (芝1800m)  
Dubai Turf-G1 (Turf)
- 優勝** MRCコーフィールドS-G1 (芝2000m)  
Caulfield S-G1 (Turf)
- 優勝** ダルマイヤー大賞典-G1 (芝2000m)  
Grosser Dallmayr-Preis-G1 (Turf)
- 優勝** ジョエルS-G2 (芝8f) 2回  
Joel S-G2 (Turf)
- 優勝** マクウムチャレンジラウンド2-G2 (D1900m)  
Al Maktoum Challenge Round 2-G2 (Dirt)
- 優勝** アルラシディヤ-G2 (芝1800m)  
Al Rashidiya-G2 (Turf)
- 優勝** シングスピールS-G2 (芝1800m)  
Singspiel S-G2 (Turf)
- 優勝** ハンプトンコートS-G3 (芝9f212y)  
Hampton Court S-G3 (Turf)
- 優勝** シングスピールS-G3 (芝1800m)  
Singspiel S-G3 (Turf)
- 2着** コックスプレート-G1 (AUS/芝2040m)
- 2着** ジェベルハッタ-G1 (UAE/芝1800m)
- 2着** サウジカップ (D1800m)

## 種牡馬成績 Stud Record

2022年より我国で供用開始  
2022年は108頭に種付け  
2023年は115頭に種付け  
2024年は95頭に種付け

## 母系 Family

- 母** ナーレイン Nahrain は英国3歳牝馬チャンピオン、英3勝、Distaff S-L、仏1勝、オペラ賞-G1、愛入着、ブランドフォードS-G23着、北米1勝、フラワーボウル招待S-G1、BCフィリー&メアターフ-G12着。産駒
- ベンバトル** Benbatl: 本馬
- フーラート Fooraat (17牝 Dubai) 英2勝、Snowdrop Fillies S-L2着、Rosemary S-L3着、Lyric Fillies S-L3着、仏入着、リウレイ賞-G34着
- 祖母** パール Bahr は英4勝、リブルズデイルS-G2、ミュージッドラS-G3、Washington Singer S-L、英オークス-G12着、愛オークス-G13着、フラワーボウル招待H-G13着。産駒
- バーラー** Baharah (牝 Elusive Quality) 英5勝、Valiant S-L、Fleur de Lys Fillies S-L、インドバイ In Dubai (牝 Giant's Causeway) 英1勝。産駒
- ゴーベアズゴー** Go Bears Go: 英愛2勝、レイルウェイS-G2、ノーフォークS-G22着、フィーニクスS-G13着、BCジュヴェナイルターフスプリント-G22着
- ドラティ Dorrati (牝 Dubai Millennium) 不出走。産駒
- ドラール Dorraar: 英1勝。産駒
- ファアバヴ** Far Above: 英仏4勝、パレスハウスS-G3、Prix Kistena-L
- 曾祖母** レイディオブザシー Lady of the Sea は英1勝。産駒
- クレリオ Clerio: 愛仏5勝、メイトロンS-G3、Prix Caravelle Haras des Granges-L。産駒
- アラマー** Alamer: NZ4勝、ARC Trevor Eagle Memorial S-L
- クレリヒュー Clerihew: 不出走。産駒
- ヒーズアワロックイ** He's Our Rakkii: 豪7勝、MRCトゥーラクH-G1、ATCカーバインクラブS-G3、ATCフランクパッカープレート-G3
- アワクリード** Our Creed: NZ1勝、WRCレヴィンクラシック-G14着
- グリーンパームツリー Green Palm Tree: 英豪5勝。産駒
- アザレア Azalea: 豪2勝。産駒
- ヌーグーラバー** Noogoora Burr: 豪10勝、BRC Phelan Ready S-L、BRCシャンペインクラシック-G24着
- フルールロワイヤル** Fleur Royale: 豪3勝、ATC Gimcrack S-L2着、ATC New Widden S-L2着、ATCフライトS-G13着
- 四代母** ラメール La Mer はNZ年度代表馬、NZ2歳牝馬チャンピオン、NZ3歳牝馬チャンピオン、NZ古馬チャンピオン、豪NZ24勝、WRCNZオークス、ARCエアニュージーランドS、ManawatuサイアーズプロデュースS、ManawatuアワプニゴールドC、ARCロイヤルS

## 血統表 Pedigree Table

ドバウイ Dubawi 鹿毛 2002	ドバイミレニアム Dubai Millennium	Seeking the Gold	Mr. Prospector	Raise a Native Gold Digger Buckpasser Broadway Northern Dancer Sweet Alliance Pretense Change Water Mill Reef Hardiemma Roberto Where You Lead Lyphard Navajo Princess High Line Sunbittern Native Dancer Mixed Marriage Rockefella Chambiges イエローゴンド Novara Be Friendly No Court Nijinsky Foreseer Master Derby Margarethen Never Bend Millan Mill Copenhagen La Balsa
	ゾマラダー Zomaradah	Colorado Dancer	Con Game	
ナーレイン Nahrain 栗毛 2008	セルカーク Selkirk	Deploy	Shareef Dancer	
	パール Bahr	Jawaher	Fall Aspen	
		Sharpen Up	Shirley Heights	
	Lady of the Sea	High Tern	Slightly Dangerous	

## 父系 Sire Line

父:ドバウイ Dubawi は愛国産。愛2000ギニー-G1、ジャックルマロワ賞-G1、愛ナショナルS-G1など8戦5勝。仏総合2歳チャンピオンサイアー。2015、2018、2021、2022年欧州繋養種牡馬の世界獲得賞金ランキング1位。

<代表産駒>

ガイヤース (2020世界ランキング1位、全欧年度代表馬、全欧古馬チャンピオン、コロネーションC-G1、エクリプスS-G1、インタナショナルS-G1、バーデン大賞典-G1)、ポストボンド (コロネーションC-G1、キングジョージ六世&クイーンエリザベスS-G1、インタナショナルS-G1、ドバイシーマクラシック-G1)、ニューベイ (仏ダービー-G1)、ナイトオブサンダー (英2000ギニー-G1、ロッキンジS-G1)、\*マクフィ (英2000ギニー-G1、ジャックルマロワ賞-G1)、アルカジーム (エクリプスS-G1、プリンスオブウェールズS-G1、タタソールズゴールドC-G1・2回) など活躍馬多数。



# ローズズインメイ

Roses in May  
2000年生 米国産 青鹿毛

芝・ダートで重賞勝ち馬、障害レースでもOP勝ち馬を送り出す  
母の父としてもオークス馬を筆頭に、4頭の芝重賞勝ち馬を輩出



## 競走成績 Race Record

2003～2005年  
13戦8勝 総獲得賞金\$5,490,187

- 優勝** ドバイワールドC-G1 (D2000m)  
Dubai World Cup-G1 (Dirt)
- 優勝** ホイトニーH-G1 (D9f)  
Whitney H-G1 (Dirt)
- 優勝** ケンタッキーCクラシックH-G2 (D9f)  
Kentucky Cup Classic H-G2 (Dirt)
- 優勝** コーンハスカーBCH-G3 (D9f)  
Prairie Meadows Cornhusker Breeders' Cup H-G3 (Dirt)
- 2着** プリーダーズCクラシック-G1 (D10f)
- 2着** ドンH-G1 (D9f)

代表産駒 ドリームバレンチノ(2012年 函館スプリントS優勝、2014年 JBCスプリント優勝)  
ローズズインメイの初年度産駒。デビュー2戦目で初勝利を上げると、その後はじっくりと力をつけつつ堅実に昇級していき、5歳春から3連勝で函館スプリントSで重賞初制覇。続く秋のスプリンターズSも3着に好走。さらに明け6歳のシルクロードSで2度目の重賞制覇、続く高松宮記念を2着に好走と完全に本格化。6歳秋にはダート路線に目を向け、初戦のJBCスプリントでいきなり2着に好走すると、翌年のJBCスプリントを優勝。重賞初勝利が24戦目、G1初制覇が7歳という遅咲きだったが、2歳から10歳まで、実に55戦を元気に走り切り、タフネスぶりをみせた丈夫な馬だった。

## 血統表 Pedigree Table

<b>デヴィルヒズデュー</b> Devil His Due 黒鹿毛 1989	デヴィルズバッグ Devil's Bag	Halo	Hail to Reason Cosmah	Turn-to Nothirchance Cosmic Bomb Almahmoud
	プレンティオートゥール Plenty O'Toole	Ballade	Herbager Miss Swapsco	Vandale Flagette Cohoos Soaring Native Dancer Raise You Nashua Real Delight Double Jay Noble Nurse Spy Song Radio Time Prince Rose Cossquilla Count Fleet Banish Fear Tourbillon Roseola Astrophel Folle Passion Balladier Broomshot Discovery The Schemer Dhoti French Gem Xalapa Clown Marie Jean
<b>テルアシークレット</b> Tell a Secret 黒鹿毛 1977	スピークジョン Speak John	Raise a Cup	Raise a Native Spring Sunshine	
	シークレットリトリート Secret Retreat	Li'l Puss	Noble Jay Li'l Sis	
		Prince John	Princequillo Not Afraid	
		Nuit de Folies	Tornado Folle Nuit	
		Clandestine	Double Jay Conniver	
		Retirement	Royal Gem Marie J.	

## 父系 Sire Line

父:デヴィルヒズデュー Devil His Due はピムリコススペシャルH-G1、ウッドメモリアルS-G1、ガルフストリームパークH-G1、サバーバンH-G1(2回)など41戦11勝。

<代表産駒>

シーズアデヴィルデュー She's a Devil Due(アルシバリアディーズS-G2,BCジュベナイルフィリーズ-G13着),バックルダウンベン Buckle Down Ben(ルーレルフェューチュリティ-G3,ホーリーブルS-G32着),スパイトザデヴィル Spite the Devil(ウィザーズS-G3,サンフォードS-G23着),サルスティノ Salustino(ミゲルA.チェカエギーブレン賞-G3),デヴィルズディサイプル Devils Disciple(ホープフルS-G12着),スライズチョイス Slides Choice(レイヴンランS-G22着),テンセンツアシャイン Ten Cents a Shine(ケンタッキージョッキークラブS-G22着),ミスターデヴィル Mister Deville(レミントンパークダービー-G32着),ストップアトレイン Stop a Train(アーリントンメイトロンH-G32着),ミスタースプラッシュMr. Splash(シルキーサリヴァンS-G32着),デヴィルアトザワイヤー Devil at the Wire(ヒアカムズザブライドS-G33着),ディスフリースイズデュー This Fleet Is Due(ハスキル招待H-G14着,オークローンH-G14着)など多数。

## 種牡馬成績 Stud Record

2006年より我国で供用開始

<主な産駒>

ドリームバレンチノ(JBCスプリント-JPN1,同2着,東京盃-JPN2,シルクロードS-G3,函館スプリントS-G3,兵庫ゴールドT-JPN3,福島民友C-L,高松宮記念-G12着,スプリンターズS-G13着),コスモオゾラ(弥生賞-G2,皐月賞-G14着),サミットストーン(NAR年度代表馬,浦和記念-JPN2,同2着,白山大賞典-JPN32着,東京大賞典-G13着,川崎記念-JPN13着),ローズジュレップ(NAR2歳最優秀牡馬,兵庫ジュニアGP-JPN2,全日本2歳優駿-JPN13着),ウインムート(さきたま杯-JPN2,兵庫ゴールドT-JPN3,栗東S-L,エニフS-L),ローズプリンスダム(レパードS-G3,ラジオ日本賞-OP,鳳雛S-OP),マイネルバイカ(白山大賞典-JPN3,ブラジルC-L,ベテルギウスS-OP),クレイジーアクセル(NAR4歳以上最優秀牝馬,クイーン賞-JPN3,関東オークス-JPN23着),コスモゾーンパーク(ニューイヤーS-L,同2着,小倉大賞典-G32着),ホウオウルーレット(カノープスS-OP,レパードS-G35着)

<母の父代表産駒>

ユーバーレーベン(父ゴールドシップ:オークス-G1,札幌2歳S-G32着,阪神JF-G13着,フローラS-G23着,AJCC-G23着,フラワーC-G33着),クリノドラゴン(父アスカクリチャン:浦和記念-JPN2),マイネルファンロン(父ステイゴールド:新潟記念-G3,AJCC-G22着,函館記念-G32着,スプリングS-G23着),コガネノソラ(父ゴールドシップ:クイーンS-G3,スイートピーS-L),マイネルウィルトス(父スクリーンヒーロー:福島民報杯-L,アルゼンチン共和国杯-G22着,目黒記念-G22着,ステイヤーズS-G23着,日経賞-G33着,函館記念-G32着),ウインピクシス(父ゴールドシップ:クイーンS-G32着,福島牝馬S-G33着),マイネルモント(父ゴールドシップ:中山金杯-G32着)

## 母系 Family

母 テルアシークレット Tell a Secret は北米9勝,ヴェイグランシーH-G32着,パレリーナS-G3

2着,同3着,PoincianaH2着,Tempted S3着,Imp S3着,Columbiana H3着。産駒  
シークレットスレト Secret Threat(85牝 Mr. Leader)北米入着。産駒

グリーフリー Gleelessly:北米7勝,イエルバブエナBCH-G3,CTT & Thoroughbred  
Owners of California H-L,サンタアニタオークス-G13着

スルーズシークレット Slew's Secret:北米21勝,Breeders' Cup Rascal S

プレイフルシークレット Playful Secret(88牝 Play Fellow)不出走。産駒  
ポエトリーオアプロウズ Poetry Or Prose:北米4勝,Best of Ohio Juvenile Fillies S  
2着

リスモアラス Lismore Lass(89牝 Vigors)北米7勝,Bayou H-L。産駒

ダイナマイトラス Dynamite Lass:北米4勝,ザベリワンH-G3,ヒアカムズザブライ  
ドS-G32着,ヴァリーヴューS-G32着,Tropical Park Oaks-L2着

ハーバーガール Harbor Girl:北米1勝。産駒

ブラックンビューティ Black N Beauty:北米8勝,Woodstock S-L2着

オスカーマックス Oscar Max(90 騾 Temperence Hill)北米4勝,Japan Racing Association  
S-L2着,Chieftain H-L3着,北米障1勝

\*ローズズインメイ Roses in May:本馬

祖母 シークレットリトリート Secret Retreat は北米12勝,Scarlet Carnation S-2回,デラウェア  
オークス 2着,ゴールドンロッドS2着,アルシバリアディーズS3着。産駒

アップルヘイヴン Apple Haven(牝 Johnny Appleseed)北米4勝,Penelope S2着。産駒  
ナスティテンプレション Nasty Temptation:北米10勝,Corte Madera S-L2着

ドクタービージェイ Dr. Bee Jay:北米16勝,Airline S,Minstrel S,Blue Skies S,Sugar Bowl  
H,Old Hickory S

グッドフォーブズ Good Forbes:北米1勝。産駒

ボールドパッセージ Bold Passage:北米4勝,Decoration Day H-L

グランドタニア Grand Tania:北米2戦。産駒

カーサペトロン Casa Petrone:北米14勝,Charles H.Russell H-L。ワンダーア  
キュート(JBCクラシック-JPN1,同2着,同3着,帝王賞-JPN1,かしわ記念

-JPN1,東海S-G2,日本テレビ盃-JPN2,ジャパnCダート-G12着・3回),ワン  
ダースピード(東海S-G2,名古屋グランプリ-JPN2)の祖母



# Big Red Farm Stallion Lineup

今も香港シャティン競馬場の芝2000mのレコードホルダーであるウインブライト、世界の4カ国で重賞10勝を挙げたベンバトルはもちろん、香港やドバイで脚光を浴びたステイゴールドの直仔であるゴールドシップ、香港カップでロマンチックウォリアーと優勝を争ったダノンザキッド、欧州でも種牡馬経験のあるダノンバラード・・・ビッグレッドファームに繋養される種牡馬は日本の馬場にアジャストしながらも世界に飛び出して十分に通用するパワーと潜在能力を秘めています。



## ウインブライト

産駒は活気豊かで、馬格、体質などすべてにおいて平均以上の特徴を備えています。特に後軀の面積、体積にボリュームが感じられますね。柔らかい筋肉に恵まれた産駒が多く、その柔軟さから、今後の成長の伸びしろは小さくないと期待しています。  
初年度産駒が2024年にデビューしたばかりで、これまでは父と同じ芝の中距離での活躍が目立ちますが、芝1200mやダートでの勝ち馬も出ました。船橋ではオープン勝ち馬が出るなど力のいるダートでも結果を出し始めています。現状では柔軟さが目立っていますが、成長とともに力が備わってくることで、幅広いカテゴリーで活躍馬を送り出してくれるでしょう。  
2歳時はゴール前で追い込んでくる馬も多く見られました。ステイゴールド系の特徴でもある成長力で一皮むけて次々と活躍馬が出てくることを期待しています。



## ゴールドシップ

供用9年間の平均受胎率は85%（配合変更を除く）、種付1回あたりの受胎率も60%近くで推移しており安定した高い受胎率を誇っています。産駒は父のイメージのような手のかかる仔は多くなく、経験の浅いスタッフでも担当出来るほどです。2024年まで毎年クラシックに産駒が出走しているように、早いうちから活躍し、一方で古馬になっても成長曲線を描いている産駒が多いのも特徴です。また重賞を勝つような馬格のある馬だけではなく、400キロそこそこの小型馬でも活躍している馬も目立ちますね。毎年のように「産駒の芝での平均勝利距離」が2000mを超えているように、芝の中長距離の適性は抜群です。  
なかでも強調すべきはやはり柔軟さ。ただ柔らかいだけでなく、競走馬、種牡馬として結果を残すために必要な筋力も備わったうえでの柔軟さです。なかなか、この体質を持ち合わせている種牡馬は多くないと思います。



## ジョーカプチーノ

2025年で19歳になりましたが、年齢を感じさせるような不安はありません。昨年9頭で種付けして7頭が受胎しています。産駒はおとなしいタイプが多く、完成度が高いのが特徴。大柄な馬のほうの結果を残していると思います。  
種牡馬として晩年に差しかかり、障害レースの重賞やオープン優勝馬、中距離で活躍する馬が出てきましたが、やはり産駒の本質はスピードを活かした競馬。ジョーカプチーノ自身の後軀の大きさ、幅はなかなか見られるものではなく、これが産駒のスピード能力の高さの源になっていると感じます。  
種牡馬供用開始から変わらずスピード能力の高い馬を送り出していますので、1年でも長く種牡馬を続け、1頭でも多く父譲りのスピード能力を見せつけてくれる産駒が出てくれることを期待しています。



## ダノンザキッド

種牡馬デビューとなった2024年は競走馬から上がって間もなく、種付けを覚える段階でした。供用2年目となる今年は恵まれた馬体がさらに種牡馬としての身体つきに変化し、見た目はもとより中身も風格をもって繁殖牝馬を迎え入れることができそうです。  
今春、初年度産駒が誕生しますが、ダノンザキッド自身、520キロを超える雄大な馬体に恵まれながらも手先の軽さや機敏な動きが目立つ馬でした。血統的にもハーツクライ系のジャスタウェイ産駒ですから、スピード寄りのタイプが多くなると見込んでいます。その一方で恵まれた馬体からは力の要るダートも苦にしない産駒も出てくると思いますので、オールラウンダーの活躍を期待しています。  
本馬のデビューから3連勝でのG1制覇は今でも印象鮮やかで、その後も最高峰の舞台で差のない競馬を続けてきました。産駒には2歳G1のみならず、父を超えとなるクラシック、古馬G1、海外G1制覇を期待しています。



## ダノンバラード

2025年で17歳になり、見た目や種付での体調的な不安はありませんが、受胎率が下がりつつあるのは否めません。今春のシーズンに向けて改めて飼養管理や運動面などを見直して臨んでおり、少しでも受胎率向上につなげたいと思います。逆輸入後は毎年重賞タイトルを争う産駒が出ており、高いレベルでの活躍が見込まれる1頭です。  
産駒はディーブインバクト譲りで無駄な肉が少なく、体重も軽めの馬が多いこともあって上がり早の印象を受けます。また運動神経が良く、常に動ける準備をしているかのように過ごしているので、一見すると落ち着きのないタイプが目立つかもしれませんが、芝のマイル、中距離からダートまで一線級の馬が出ているように、スピード、パワーを兼ね備えており、父が果たせなかったG1タイトルを獲得する産駒が出てくることを期待しています。



## ベンバトル

2024年はシャトルリースでオーストラリアでも69頭に種付を行っています。長距離輸送も検疫中も体調を崩すことなく、今春のシーズンへ向けて体調に不安はありません。  
産駒は体高がやや低めの傾向が見られますが、幅があって筋肉量が豊富。前腕、後軀の筋肉量には目を見張るものがあります。柔軟な体質の仔が目立ち、この柔軟さは古馬になっても成長力に繋がるのではないかと考えています。ベンバトル自身7歳まで一線級で走っていることから納得いただけるのではないのでしょうか。体型的にはマイルあたりがベターという印象を持っていましたが、動かしてみると筋肉量が多くて各関節の可動域が大きく、柔らかい。見た目以上に距離はもつと思います。ベンバトルに似た体型、体質の産駒が多く、配合次第でクラシックディスタンスで活躍する産駒も出てくると期待しています。



## ロージズインメイ

25歳になりましたが、高齢を感じさせる不安もなく、2024年に種付を行った3頭すべてが受胎しています。産駒は丈夫で出走回数も多く、息の長い活躍をしてくれています。成長力に富んでいるのでしょうか。種牡馬供用当初は芝での活躍馬も多くいましたが、晩年に差し加かりダート適性が高い産駒の割合が増えました。また母父としての活躍も顕著で、ゴールドシップとの配合でユーバーレーベンなど、ステイゴールドとの配合でマイネルファンロン、スクリーンヒーローとの配合でマイネルウィルトスなどの重賞勝ち馬が出ており、これら重賞勝ち馬に限らず日高繋養の種牡馬との配合で多くの活躍馬が出ています。父としてはドリームバレンチノしかG1級の産駒を送り出すことが出来ませんでした。母父としては既にクラシックホースを送り出しています。これだけ顕著な活躍の実績を示していますから、近いうちに2頭目のクラシックホース、G1ホースが現れると期待しています。



## BIG RED FARM

ビッグレッドファームは種付から生産、育成、調教まで全てを行う総合牧場です。北海道新冠町と新ひだか町に6か所、茨城県に1か所の計7か所で牧場を構えています。

生産部門では2021年のオークスを勝利したユーパーレーベンをはじめマイネルキッツ、マイネルグロン、マイネルネオス、ドリームバレンチノ、ディアトムスなどのG1馬を送り出し、高いレベルで安定した実績を残しています。

育成部門では広大な敷地を利用した夜間放牧を行うなど徹底した基礎体力の向上に努めています。調教部門では屋根付き坂路コースをメインにトレッドミルやウォーキングマシンも併用。季節を問わず安定した基礎トレーニングを行っており、追い切りはもとより発馬ダッシュまでの実践的なトレーニングを行っています。

育成馬としてもコスモバルク、マイネルラヴ、マイネルマックス、マイネルセレクトなど数々のG1馬を送り出しています。茨城県の銚田トレーニングセンターではJRA美浦トレーニングセンター近郊という立地を生かしトレッドミルと坂路コースを併用しながら、帰厩後すぐレースに出走可能な体勢を整える役割を果たしています。

### 有限会社 ビッグレッドファーム

〒059-2425 北海道新冠郡新冠町字明和120-4  
TEL 0146(49)5601 <https://www.bigredfarm.jp>

### 株式会社 サラブレッドクラブラフィアン 有限会社 ラフィアンターフマンクラブ

〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-6 京橋弥生ビル4階  
TEL 03(3562)2581 FAX 03(3562)2585 <https://www.ruffian.co.jp>  
競走馬への出資という形で競馬を楽しむ会員制のクラブです。所属馬はグループの充実した施設と高い技術力で入念に育成・調教されています。これまでにユーパーレーベン、マイネルキッツ、マイネルラヴ、マイネルホウオウ、マイネルグロン、マイネルセレクトなど数々のG1ウイナーを送り出し、多くの会員の皆様に大きな喜びと感動をお届けしております。

### コスモオーナーズ (有限会社 コスモス)

〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-6 京橋弥生ビル4階  
TEL 03(3562)8016 <https://www.cosmo-owners.jp>  
中央、地方競馬の馬主の方へ向けて共有馬を販売しています。これまでの販売馬には国際G1シンガポール航空国際カップに優勝したコスモバルクをはじめ、中山金杯と中日新聞杯の重賞2勝のコスモファントム、重賞のアーリントンカップに優勝したコスモセンサーなどがあり、近年では弥生賞に優勝し皐月賞で2着のコスモキュランダ、2歳オープンのコスモス賞に優勝したコスモイグローク、同じく2歳オープンのクローバー賞に優勝したコスモディナー、ホッカイドウ競馬と佐賀競馬で重賞3勝のコスモボラリタなどがあります。販売馬はグループの充実した施設とスタッフにより入念に育成されています。

### 株式会社 ブルースターズファーム

〒059-2425 北海道新冠郡新冠町字明和120-4  
2016年に新ひだか町静内真歌に開場致しました。牧場は高台に位置し、眼下に町内を一望、さらに太平洋まで望むことができる83haの広大な敷地で、繁殖牝馬、中期育成の1歳馬、現役馬などを管理しております。

